

函館工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	ボランティア活動	
科目基礎情報							
科目番号		0003		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		物質環境工学科		対象学年		1	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材							
担当教員		柳谷 俊一					
到達目標							
ボランティア活動の実践者として、活動の意義や期待される役割、さらにはリスクなどを踏まえた行動 をとることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		社会を支える一員として、ボランティア活動に参加し、求められる役割を十分に把握し、積極的な行動や言動、他者とののかかわりをとって、よりよい成果が上がるように活動を推進できる。		社会を支える一員として、ボランティア活動に参加し、求められる役割を把握して行動できる。他者とののかかわりながら成果が上がるように活動できる。社会を支える一員として、ボランティア活動に参加し、活動に協力できる		左記に達していない 求められる役割や責任 を果たすことができない	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 D							
教育方法等							
概要		ボランティアが社会に果たす役割や、社会から求められる期待が大きくなっている。ボランティアが求められている意義や期待する役割を踏まえて、自ら積極的に行動することが求められる。その際、関係する人たちとの交流、ルールやマナーなどを踏まえて、より良い成果をあげることが求められる。学生として「社会活動に自発的・積極的に参加する」姿勢を養うものです。					
授業の進め方・方法		ボランティア活動にあたっては、ボランティアの役割や意義を十分に理解した上で、高専生として誇りある活動を常に心がけ、その行動や言動に責任を持ち、ルール等を守ること。また、活動にあたっては、安全面及び心身の健康状態に十分に注意して臨むこと。					
注意点		・ 所定の「ボランティア活動報告書」および「ボランティア活動証明書」またはそれに替わる書類で30時間以上の活動を行ったことを確認することにより、達成を評価する。 ・ ボランティア活動により「態度・志向性（人間力）」の主体性、責任感、チームワーク、倫理観を評価するものとする。 ・ なお、前年度において対象となるボランティア活動に参加した学生については、その活動時間（30時間に満たない時間）を本年度の活動時間に合算した上で、累計活動時間として確認を受けることができることとする。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	履修願の提出		履修を希望する場合は、「ボランティア活動履修願」を担当教員に提出すること		
		2週	事前の学習活動		ボランティア研修への参加や関係文献による学習等により、ボランティアの果たす役割や意義について事前に十分に理解しておくこと。		
		3週	活動届の提出		指定書式の「ボランティア活動届」を事前に担当教員に提出すること 【対象となるボランティア活動】 ①学生委員会またはその他本校教員が計画して学生委員会が承認したボランティア活動 ②地方公共団体等の公的機関が主催するボランティア活動 ③その他参加希望があった活動のうち学生委員会が承認したボランティア活動		
		4週	災害保険契約締結		災害復興のための活動等の危険を伴う活動に従事する場合は、必ずボランティア活動保険に加入すること。また、それ以外の活動についても同様に、ボランティア活動保険に加入しておくことが望ましい。		
		5週	活動の実施		心身の健康状態に十分に気を付けた上で、高専生として誇りある活動を常に心がけ、行動や言動に責任を持ち、礼節を守って活動を行うこと。 また、活動中に事故があった場合等、不測の事態に際しては速やかに学校へ連絡すること。		
		6週	活動証明書の作成		所定の「活動証明書」に活動した日時及び活動内容を記入し、受入機関の担当者に内容の確認及び証明を依頼すること。		
		7週	活動証明書の提出		活動終了後速やかに、所定の「活動報告書」を作成し、上記の「活動証明書」と一緒に担当教員に提出すること		
		8週	活動報告書の提出		活動終了後速やかに、所定の「活動報告書」を作成し、上記の「活動証明書」と一緒に担当教員に提出すること。		
	2ndQ	9週					
		10週					

後期		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	基盤的資質・能力	自己理解	自己理解	自己理解に基づき必要な対応や行動を検討できる。	3	前5
		主体性	主体性	自分が果たすべき役割や行動について認識できる。	3	前5
				自分が果たすべき役割や行動を実践できる。	3	前5
		自己管理と責任ある行動	自己管理と責任ある行動	自分に求められる役割や行動を把握し、確認できる。	3	前5

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0